

「世界のバリアフリー絵本展」松本開催報告

A REPORT ON EXHIBITION OF PICTURE BOOKS FOR
ALL CHILDREN IN MATSUMOTO ART MUSEUMびやしま
美谷島 いく子
Ikuko BIYAJIMA

《要旨》

松本短期大学と松本市美術館が共催した「世界のバリアフリー絵本展」関係の資料や見学者の感想等をまとめた報告書を作成した。今後の事業開催のために役立てたい。

Abstract : The art exhibition of picture books for all children was held in Matsumoto by Matsumoto Junior College and Matsumoto Art Museum. Various documents of this exhibition and short essays/ notes/ pictures written by children and their parents are collected. They would be probably useful for next exhibition in a near future.

1. はじめに

松本短期大学と松本市美術館が共催した「世界のバリアフリー絵本展」に関係した資料及び見学者の当日の様子・感想文・絵等を纏めて報告を作成した。ポスター、チラシ、友の会会報、報道機関の取り扱いの記録等も収録した。この報告が次回の事業開催に役立つと思っている。内容は次のように整理した：

2. 開催日時
3. 松本での開催の目的
4. 展示作品リスト
5. 入場者数
6. 絵本に触れる様子
7. 入場者感想
8. まとめ
9. 添付資料：(1) 出品絵本リスト、(2) ポスター、(3) チラシ、(4) 友の会会報、(5) 報道記録

2. 開催日時

平成17(2005)年3月8日(火・PM1:00)～13日(日)

AM9:00～PM5:00 (最終日PM4:00)

会 場：松本市美術館 ギャラリーA

搬入・飾付：3月8日(火) AM9:00～正午

オープン：3月8日(火) PM1:30～

片付・搬出：3月13日(日) PM4:00～

- 主 催：松本短期大学・松本美術館友の会
 共 催：松本市教育委員会・松本美術館
 日本国際児童図書評議会（JBBY）・日本ユネスコ協会
 後 援：信濃毎日新聞社・市民タイムズ・朝日新聞松本局・毎日新聞松本支局・
 読売新聞松本支局・中日新聞・NHK松本支局・SBC信越放送・NBS長野放送・
 テレビ信州・長野朝日放送・テレビ松本・FM長野・絵本学会・松本市

3. 松本での開催の目的

- 1) 視覚障害以外の「障害」に対しての絵本のバリアにも気付いて欲しい。
- 2) 視覚障害者に対する点字以外にも様々なアプローチがあることを知って欲しい。
- 3) この絵本展を通じ「障害」があろうとなかろうと、共に響きあうひと時をもてるような絵本の製作や普及のために努力する人たちと、出会っていただろうれしい。

4. 展示作品リスト

IBBY50周年だった2003年、オスロの障害児図書資料センターで集めた図書4千冊の中から19か国43作品を選出し、IBBY50周年記念の「世界バリアフリー絵本展」で展示した。その中に、日本の絵本も2冊含まれていた。

他に日本のバリアフリー絵本40冊も同時に展示された。

展示されている絵本は次の9ジャンルに分けられる。

- (1) 身振りで語る（手話つき絵本）
- (2) ブリスやピクトグラム（絵文字）がついている本
- (3) 指で読む（さわる絵本）
- (4) 市販絵本に点字を付ける
- (5) 音の描かれている絵本に音声をつけた本
- (6) 「やさしく読める本」として特別に作られた本
- (7) 一般の市販絵本の中で「障害」を越えて皆が楽しめる絵本
- (8) 「障害」のある人物が描かれている本
- (9) 「障害」のある人たちのアートや文字作品

5. 入場者数

3月8日(火)	99名（幸町保育園）
9日(水)	194名（中条保育園30名：松本短大付属幼稚園26名）
10日(木)	202名
11日(金)	198名（深志保育園年長14名年中26名）
12日(土)	339名（深志保育園27名）
13日(日)	302名

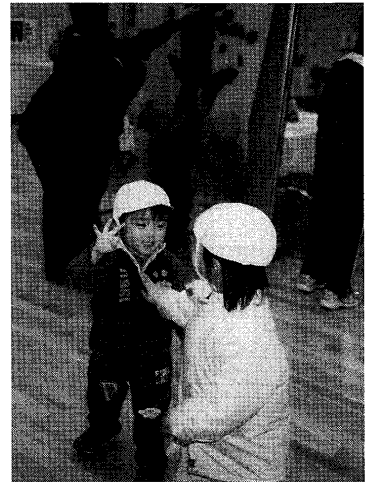
6. 絵本に触れる様子



1. 入口



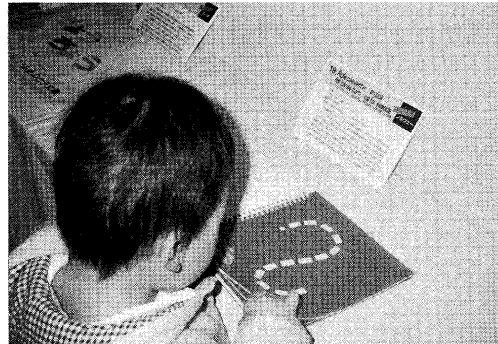
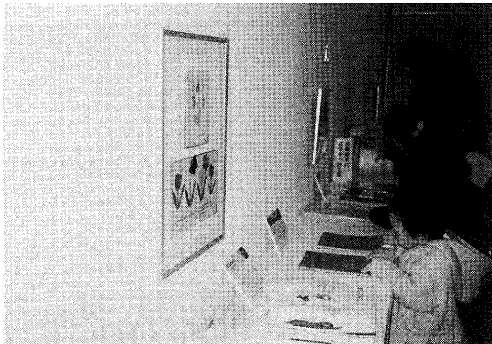
2. 目が見えない、耳が聞こえない人になって



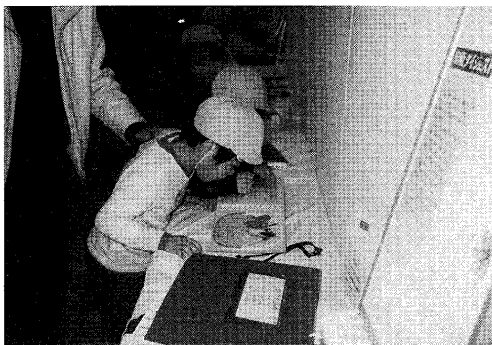
3. 木にりんごをならそう (布のリングを貼りつける)

<子どもは指先で絵本に触れて楽しむ>

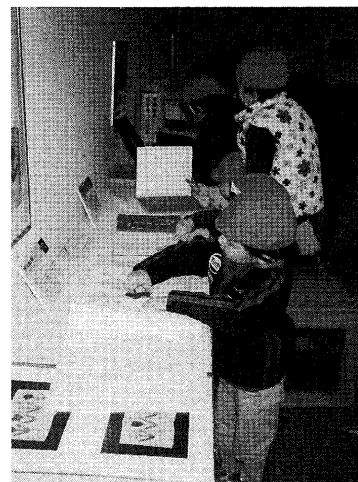
A子



4、5. ノルウェーの絵本“Rulla pa eventry” (ちびまるのぼうけん)の小さな丸い穴に触れる。

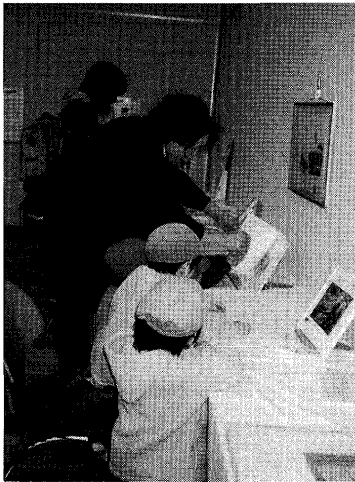


6. どんな においかな 『かごちゃん』 (匂う絵本)

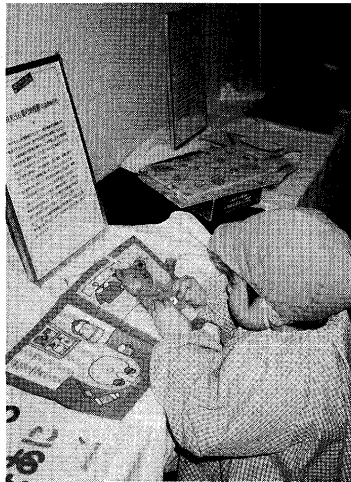


7. ちょうちょうをスナップでとめる 『ちょうちょう』 (布の絵本)

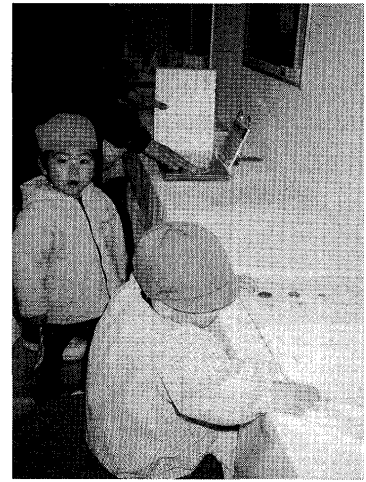
B男



8. 仕掛け絵本を見る
 “Hvar er Flekk?”
 (ころちゃんはどこ)
 <デンマークの絵本>



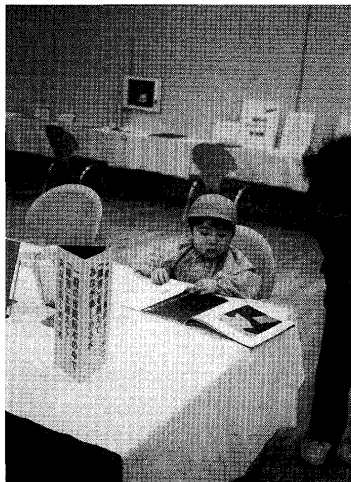
9. ボタンをかける
 『ふんわり くまちゃんの
 できるかな』



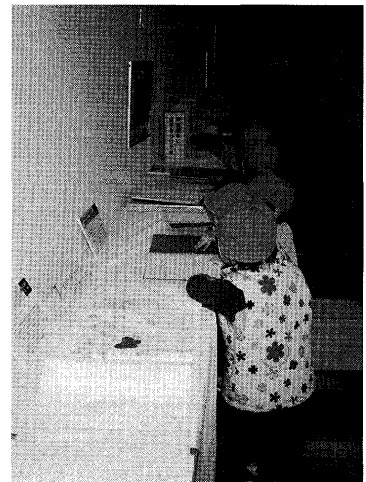
10. コインにさわる
 “Det var angang”
 (むかしむかし)
 <ノルウェーの絵本>



11. 指先で白ネズミにさわる
 “7 souris dans le noir”
 (七匹の目の見えないねずみ)
 <フランスの絵本>



12. 13. 頁をめくると、次は何かな？



7. 入場者感想（感想ノートから）

3月8日： 手作りの絵本の良さ、手で触れることの良さ、ぬくもりのある絵本のすばらしさを知る。

館内に 子ども達の声ひびく バリア絵本展

（句に素敵な絵も添えてありました）。

9日： りんごをはるのが、とても楽しかったです。色々アレンジをして遊びました。

布の絵本などぜひ自分でも作って子ども達などにも見て、触ってもらってみたいです。

小さいうちだけでなく、大人や健常者（児）でも楽しく見る事ができ、触れることができると思いました。子ども達が絵本のバリアフリーに触れることで、心もバリアフリーと共に育っていってくれるのではないかと思います。

10日： おもちゃの図書館のボランティアを細々と続けていますが、こんな企画は初めてで、目にするものすべてが発見のようでした。

このようなとりくみをサークルのように続けていくことができるのかな？と考えさせられました。絵本も大好きで、子どもたちに大人気だった絵本は、やはり知的障害のある人たちにも大人気なのだと思心させられました。

よい企画をありがとうございました。

10日： 「全ての子どもに絵本の楽しさを」と目標を持ち作られた布絵本から母の温かさが伝わり感動しました。子どもは、りんごの木に喜んでいました。

11日： バリアフリー絵本展、とても心あたたくみせていただきました。それぞれの作品ともユニーク!! 元気をいただきました。ありがとうございます。

11日： 今日の新聞を見て“あっ”と思い、すぐ飛んで来ました。

私も聴覚障害を持ち、どんな絵本展があるのかわくわくしていました。

想像よりもとても良い絵本でした。手話付きの絵本なんて今まで見たこともありませんでした。こんな絵本があるなら日本にもどんどん取り入れて子ども達（聾でも健聴でも）に表現豊かな、また人の差別など感じない世の中になって欲しいと思います。

私が小さい頃はバリアフリーなど進展されていない時代だったので、今思うとこんな人達（絵本展をひらいている方々）が活動されていると思うととても嬉しいものです。

今後もいろいろな面で活動し、大きくひろげていって下さい。またいつかどこかでこの絵本展に出会えることを期待しています。

ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

12日： もっとじっくり見たかった。残念。大人から子どもまで皆楽しめる絵本、いろいろ手にとって見れる絵本、単純だけどいろいろなことを想像させてくれる絵本。また次も考えてください。

12日： 今日はずばらしい絵本をたくさんみせていただきありがとう御座いました。

世界中のすばらしい本ですこと。私達も仲間で作っております。仲々うまく出来上がらないものです。それでも今日はいいアイデアをいくつもいくつも見せてもらいました。これを生かしてもっと会心のいい本をつくってみたいと思いました。今回の企画ありがとうございました。

12日： 長女の大学受験で松本にきて、その待ち時間に美術館に立ち寄ったところ、この絵本展に出会いました。

三女が知的障害で滋賀県大津市の志賀小学校の「ひまわり学級」におり、今留守番をしているわが子を思い出しています。大変絵本が好きなのですが、好みが偏っているので、探すのも年を追うごとに大変です。

学校からは教科書をもろうことは無く、その年度の予算を消化するように義理か役目の絵本を渡されるのですが、その絵本に興味を示しません。『音のない川』と『かくやひめ』は彼女が大喜びしそうな本で、ぜひ購入したいです。

親切にさせていただいて有難うございました。(滋賀県大津市・Y.F.)

12日： 子ども（高一）との待ち合わせ時間まで・・・と軽い気持ちで顔を出したのですが、思いがけずすばらしい本たちと出会うことができ本当に幸せです。

バリアフリーを前提にした作品ですから当然といえば当然なのでしょうが、一冊一冊に込められた思い、愛情が、文字通り手に触れ、心に触れてくる作品ばかりですね。

私自身「本を読むこと」は毎日の食事とほとんど同じ意味を持っています。本を読むことで得られる糧は、もしかしたら食事以上の栄養かも知れません。

ハンディのあるなしに関わらず、こうした喜びを経験し、またその経験を共有できることはすばらしいと思います。(諏訪郡原村・K.N.)

(手紙)

16日： 先日の絵本展どうもご苦労様でした。私も貴重な本を手にとってみる幸せを感じてとても嬉しく思いました。直接手にしてさわってみるとそれこそバリアに、さえぎられてみるのとでは格段の違いがあります。障害のある人もない人もみんな一緒に楽しむことができるということは大切なことですね。こういう本が図書館とか学校などでいつでも誰でも手に取ってみることができる・・・

先ずは、みんなに知ってもらう第一歩としてとても意義ある絵本展だったですね。

実は15年くらい前から月一回ですが、市障害者センターでやっている18才以上の重度も含む障害者のデイサービスで1日一緒にすごすというボランティアをしています。自由に外出できないので、家族以外に接する機会はほとんどありません。そこで、デイサービスではいろいろな人たちに出逢う機会を与えるということでボランティアの出番ということになったのです。来ている人は6人程ですが絵本を楽しむ能力のある人もいますが、展示されたような絵本に出逢った人はいないのではと思います。こういう絵本があるということを知るのは第一歩ですが、その先どうやって絵本と出逢わせその楽しさを知ったり、好奇心を持たせるかの教育も大切と思います。日本はそういう人材を育てることで後進国だと思います。人手も時間もかかるし、教える側にも我慢を強いる作業です。こういうことにこそ、お金を掛けてほしい、予算をつけてほしい、とお

もうのですが そのボランティアを束ねる職員はいないのではないかと思います。

見せていただいたふきのとう文庫は感心しました そういうことをずっとやってきたのですから・・・

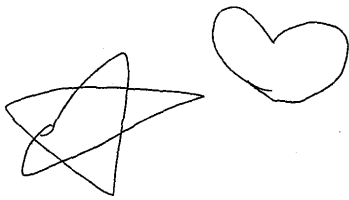
この絵本展で私自身いろいろ考えさせられ、学ばさせてもらいました。

(子どもの感想 絵と文)

①

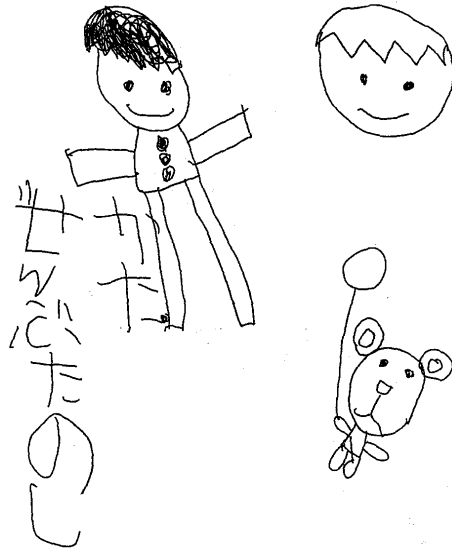


ソレ こそ
はるの が
おもしろか
です



②

あー たが じゆり



③



④

いろいろな本があつ
おもしろかたて。

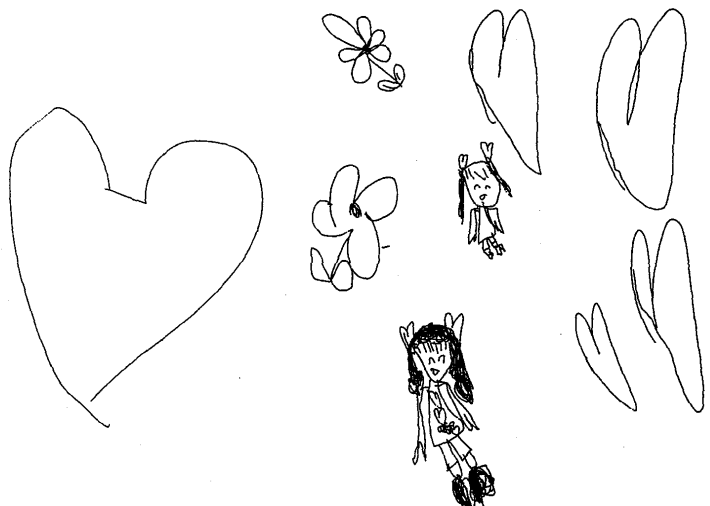


⑤



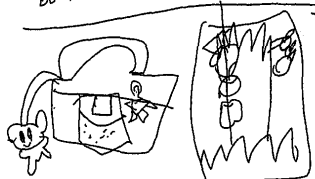
⑥

山が 新 ぼこ



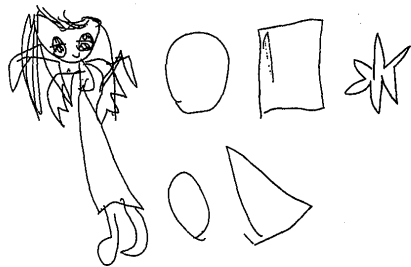
⑦

かみがいしり



⑨

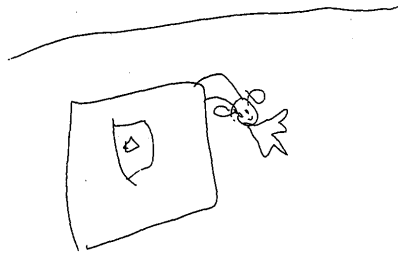
『さんわりくちやんのてびるかた』



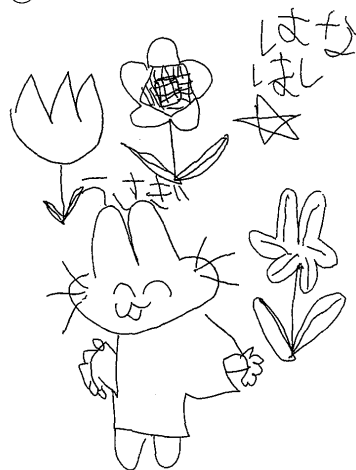
⑪



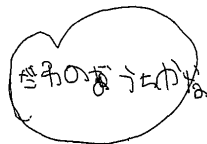
くまの絵本かたのしあつたてぶ せしり



⑧



てびるかた
さんわりくちやんの

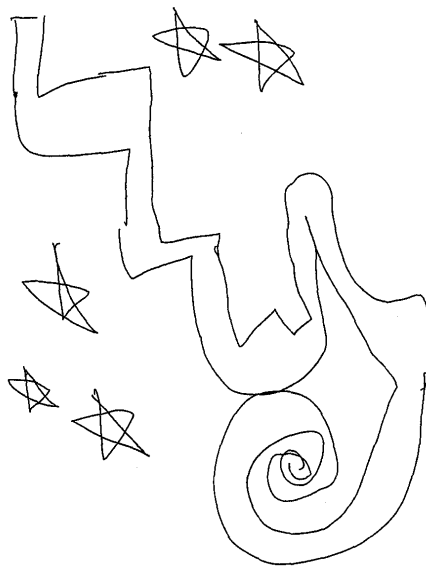


Swedenの絵本『Knacka pa!』(てびるかた)

⑫



⑬



8. まとめ

- (1) 本学と松本市美術館友の会との共催で開催出来たことは、入場者の交通の便を考えると良いことだったと判断している。
- (2) 長野市で開催されたスペシャル・オリンピックの後だったので、マスコミに好意的に取り上げて報道してもらえた。
- (3) 「もっと見たい」、「次は何時開催するのか」という声が多く寄せられたので、松本での開催の目的はほぼ達成されたと思われる。
- (4) 時期の設定が春休み前の忙しい時期だったが、次回は子どもの春休みの時が望ましい。
- (5) 子ども用の椅子、机、踏み台が欲しかった。音の出る絵本があったので、音声装置が必要だった。

9. 添付資料

(1) 出品絵本リスト

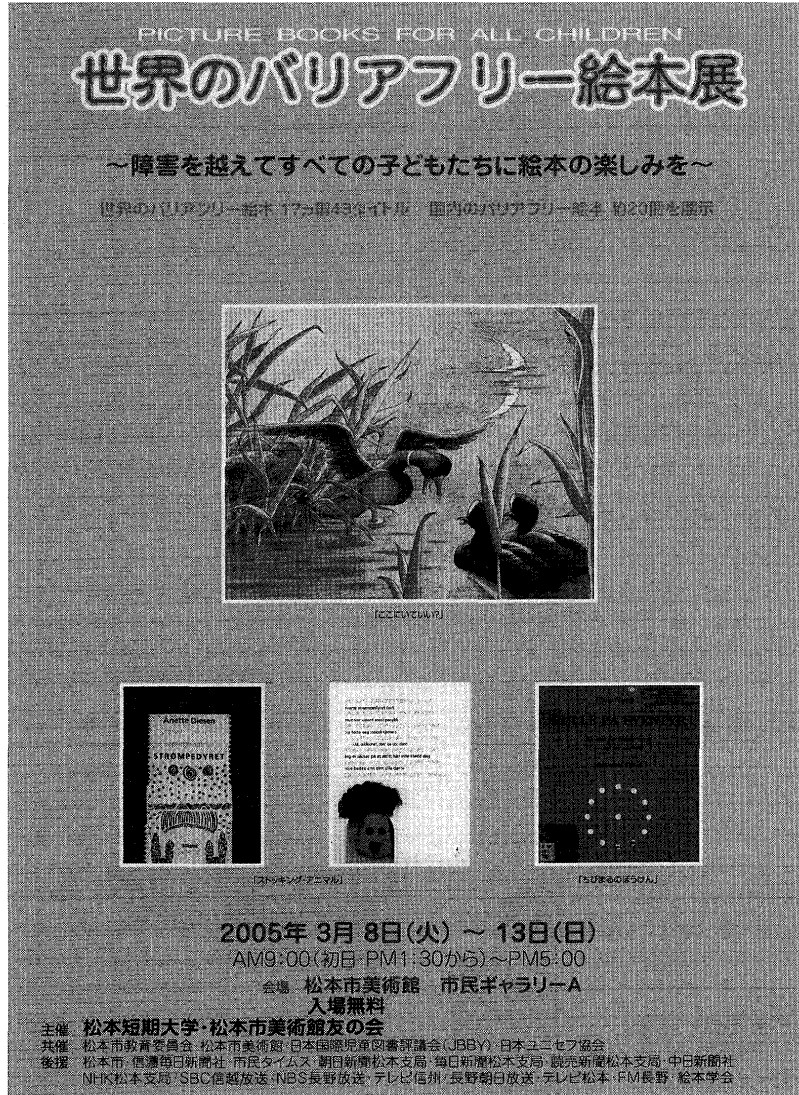
世界のバリアフリー絵本 出品リスト

番号	TITLE	国	搬入	搬出
1	Handtalk Zoo	アメリカ		
2	The River of Silence	オーストラリア		
	音のない川	邦訳版		
3	Hoor je me niet!	オランダ		
4	Hvad er det? Where's Spot? (ファイル版)	デンマーク、アメリカ		
	コロちゃんはどこ?	邦訳版		
5	Klart vi tor!	ノルウェー		
6	Fy! Katte! Fy! Kat! (ファイル版)	ノルウェー、デンマーク		
7	Blaeksprutter prutter	デンマーク		
8	Handmade Counting Book	アメリカ		
9	Stol pa meg, sa stolen	ノルウェー		
10	Der kleine Lulu	スイス		
	Lulu und die Schopfung	スイス		
11	Rodluvan och vargen	スウェーデン		
12	Hvad er det?	デンマーク		
	これ、なあに?	邦訳版		
13	Au pays d'Amadine...dine dine	フランス		
	* 展示の際はページを固定してください			
14	Det var engang	ノルウェー		
15	Strompedyret	ノルウェー		
16	Gol ya Poutch	イラン		
17	The Clever Rabbit - a Panchatantra Tale	インド		
18	ちょうちょう(旧版)* 袋から出さないください	日本		
	ちょうちょう(現代版)	日本		
19	Rulla pa eventry	ノルウェー		
	ちびまるのぼうけん	邦訳版		
20	7 souris dans le noir (ファイル版)	フランス		
	Seven blind Mice	原書 アメリカ		
	七ひきのねずみ	邦訳版		
21	Anders og Anne kommer til Bergstaden	ノルウェー		
22	カセット	デンマーク		
	いぬ	邦訳版		
23	De roda skorna - en kaerlekshistoria	スウェーデン		
24	Fardtjansten kommer - hit og dit med Lisa	スウェーデン		
	リーサのたのしい1日	邦訳版		
25	Dikter tillsammans	スウェーデン		
	訳の冊子			
26	Ma vi vaere her? (ファイル版)	デンマーク		
27	Welcome to Palace	スウェーデン		
28	Svein rommer	ノルウェー		
29	Damen som droemmer och andra bilder	スウェーデン		
30	Arlene Alda's ABC	アメリカ		
31	When Emily Woke Up Angry	イギリス		
32	Ida e Volta	ブラジル		
33	The yellow umbrella	韓国		
34	Knacka pa!	スウェーデン		
35	SEEING IN SPECIAL WAY	アメリカ		
	指で見る	邦訳版		
36	Wir Geschwister-ein Djialogbuch	ドイツ		
37	Ian's walk	アメリカ		
38	Xilef	フィリピン		
39	Let the Baloon Go	オーストラリア		
40	Stuck in Neutral	アメリカ		
	ぼくは生きている	邦訳版		
41	おかあさん	日本		
42	The Album of Blind Chirdren's Paintings	中華人民共和国		
43	Vind och vatten	スウェーデン		

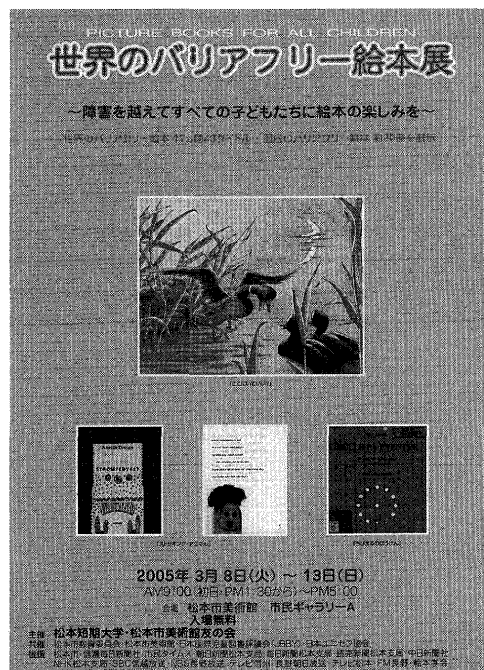
国内のバリアフリー絵本 出品リスト

書名	出版社	搬入	搬出	
チヨキチヨキチヨッキン	こぐま社			
ふんわり くまちゃんのできるかな?	世界文化社			
たっちゃん ぼくがきらいなの	岩崎書店			
オチツケオチツケ こうたオチツケ	岩崎書店			
みそ豆	自分流文庫			
初天神	自分流文庫			
バリアフリーの本全10巻	借成社			
1、目に障害のある子といっしょに				
2、はじめての点字				
3、耳の障害のある子といっしょに				
4、はじめての手話①				
5、はじめての手話②				
6、からだに障害のある子といっしょに				
7、知的障害のある子といっしょに				
8、重い障害のある子といっしょに				
9、障害のある人へのボランティア活動				
10、「障害」ってなんだろう				
ペカンの木のぼったよ	ふきのとう文庫			拡大写本
原書 ペカンの木のぼったよ	福音館書店			
だれのうち?	ふきのとう文庫			布の絵本
このいろいろなに	ふきのとう文庫			布の絵本
ごそごそぼけっと	てのひらの会(東京布の絵本連絡会)			布の絵本
みんなでひとつ	光が丘図書館(東京布の絵本連絡会)			布の絵本
いくつ!	すずらん文庫(東京布の絵本連絡会)			布の絵本
かぐやひめ	むつき会			さわる絵本
かごちゃん(におう絵本)	むつき会			さわる絵本
ある朝起きたらシリーズ たこやき	むつき会			さわる絵本
うさぎのなかまたち	対馬先生			さわる絵本
ねこ	対馬先生			さわる絵本
でんでんむし	対馬先生			さわる絵本
はなちゃん	対馬先生			さわる絵本
よるのようちえん	てんやく絵本ふれあい文庫			てんやく絵本
サボテンたちのゆきあそび	てんやく絵本ふれあい文庫			てんやく絵本
ころわんと がががが	てんやく絵本ふれあい文庫			てんやく絵本
ことばをおぼえたチンパンジー	わんぱく文庫			点字本
原書 ことばをおぼえたチンパンジー	福音館書店			
バナナのおやこ海へ行く	わんぱく文庫			点字本
ヤドカリさんとカニさん	わんぱく文庫			絵本

(2) ポスター



(3) チラシ



2005年2月24日


会員の皆さまへ

『世界バリアフリー絵本展』についてご案内とお願い


「光の春」が訪れました。日ごろは美術館友の会の活動にご協力くださりまして厚く御礼申し上げます。友の会は4年目に入り、更に仲間の輪を広げたいと願っております。よろしくお力添えください。

さて、3月8日から「世界バリアフリー絵本展」を松本短期大学といっしょに主催いたします。今年は信州を舞台にスペシャル・オリンピックも開かれ、障害を持つ人も障害のない人も共にノーマライゼーションの社会を築く機運が高まっております。

今回のバリアフリー絵本展を是非、成功させたいと願っておりますので会員の皆さまの格別のご協力を仰ぎたく存じます。会期中の参観と併せて友人、知人へのご吹聴をお願い申し上げます。

松本市美術館友の会


Er hann inni undir seingini?



「世界バリアフリー絵本展」にお出かけください

ノーマライゼーションのメッセージ

世界バリアフリー絵本展は、IBBY（国際児童図書評議会）のプロジェクトのひとつ IBBY 障害児図書資料センターが、長年にわたり世界中から収集した4,000冊のなかから、IBBY50周年を記念し、センターのほうで17カ国の本をセレクトし絵本展として企画したものです。どの絵本も「障害」のあるなしに関わらず、「障害」を超えてともに楽しめるように工夫されており、ノーマライゼーションの理念が数々の絵本を通しメッセージされています。大変社会的価値の高い絵本がそろっています。

今回の日本巡回にあたりましては、これらの本に加え国内の代表的なバリアフリー絵本も展示します。ぜひ、見て、手にとって楽しみ、こうした本の存在と必要性を知っていただきたいと思います。

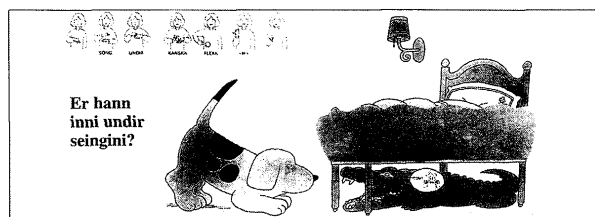
子どもたちに絵本の喜びを！

ひとときを、心温かくひびきあって周りの人々と時と空間を共有できる体験は子どもにとって、人にとって、生きていく大きな喜びとエネルギーになります。絵本は大事なそうしたひとときの媒介となり、いのちを輝かせる力をもつものです。

「障害」があろうがなかろうが、すべての子どもたちが、絵本の楽しさや、絵本が子どもたちに寄り添いひびきあう力に出会えますよう願っています。

日本初の試みです

絵本展巡回にあたりましては、こうした本の存在や必要性を社会の皆様にご知っていただき、日本ではまだほとんど取り組まれてない分野の本も、今後研究開発が進み、普及されていきますことを願っております。このような絵本展開催は日本初の試みです。



「世界のバリアフリー絵本展」

PICTURE BOOKS FOR ALL CHILDREN

※入場無料

日時：平成17(2005)年3月8日(火・PM1:00)～13日(日)
AM9:00～PM5:00(最終日4:00)

会場：松本市美術館 ギャラリーA

搬入・飾付：3月8日(火) AM9:00～正午

オープン：3月8日(火) PM1:30～

片付・搬出：3月13日(日) PM4:00～

主催：松本短期大学・松本市美術館友の会

共催：松本市教育委員会・松本市美術館

日本国際児童図書評議会 (IBBY)・日本ユニセフ協会

後援：信濃毎日新聞社・市民タイムス・朝日新聞松本支局・毎日新聞松本支局・

読売新聞松本支局・中日新聞社・NHK松本支局・SBC信越放送・NBS長野放送(6:20～)

テレビ信州・長野朝日放送・テレビ松本・FM長野・絵本学会・松本市

オープニングセレモニー次第 (進行：祖父江副会長)

- | | | |
|-----------|---------------|-------------|
| 1、開会のことば | 松本市美術館友の会副会長 | 渡会 意士 |
| 2、主催者あいさつ | 松本短期大学学長 | 山崎 健治 |
| | 松本市美術館友の会会長 | 北村 明也 |
| 3、経過報告 | 松本会場展事務局 | 美谷島いく子 |
| 4、祝 辞 | 松本市教育会会長 | 堀内 義(ただし) 様 |
| | 塩尻市・東筑摩郡教育会会長 | 久保田 茲朗 |
| | | (しげあき) 様 |
| 5、祝電披露 | (市長よりのメッセージ) | |
| 6、来賓紹介 | *なし(別記による) | |
| 7、テープカット | 松本市教育会会長 | 堀内 義 様 |
| | 塩尻市・東筑摩郡教育会会長 | 久保田 茲朗 様 |
| | (松本市社会福祉協議会) | 〇〇〇〇 様 |
| | 松本市美術館副館長 | 大日向 栄一 |
| | 松本短期大学理事長 | 片山 司 |
| | 松本市美術館友の会会長 | 北村 明也 |
| 8、閉会のことば | 松本市美術館友の会理事 | 中村 石淨 |

(4) 友の会会報

**「世界のバリアフリー絵本展」
PICTURE BOOKS FOR ALL CHILDREN**

2005年3月9日～13日にIBBY50周年記念『世界のバリアフリー絵本展』が松本短期大学との共催で開催されます。

IBBY(国際児童図書評議会)は、1953年、第2次世界大戦で荒廃したドイツで「子どもの本を通しての国際理解」を理念に設立されました。現在スイスのバーゼルに本部を置き、世界60数カ国が加盟しており、「子どもの本の国際連合」とも言われる組織です。

IBBYのプロジェクトのひとつに「障害児の為の本」があり、ノルウェーのオスロに障害児図書資料センターが置かれています。ここでは長年ノーマライゼーションの理念で世界中から障害児図書を収集し、推薦図書リストを発行しています。

IBBY50周年だった昨年、今までの収集図書4,000冊の中から19カ国43作品を選出し、絵本展として企画されました。

日本は出版大国ですが、この分野は遅れておりますので、北欧をはじめとする世界のバリアフリー絵本に、子どもだけでなく、大人も触れてほしいと願っています。美術館が、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもと絵本をつなぐ場になれば嬉しく思います。

(美谷島いく子)

◀ 「パレット」
松本市美術館 友の会会報
vol.4/2004.8.2 発行

世界のバリアフリー絵本展に1,400人

—絵本の世界でノーマライゼーションを体験—

松本市美術館友の会は3月8日から13日の会期で「世界のバリアフリー絵本展」を松本短大と一緒に主催しました。会場の美術館市民ギャラリーは連日、大盛況でした。

絵本は子どもが初めて出会う芸術。障害を越えてすべての子どもに絵本の楽しみを美術館で体験してもらいたいという願いが達成され、友の会の事業として高く評価されました。

ユネスコが世界中から収集した絵本約50冊と国内の絵本20冊が展示され、幼稚園児や保育園児の絵本に向ける真剣な眼差や、歓声が市民ギャラリーに溢れました。絵本がケースや額の中に入っているのではなく、直接さわって見ることができるのが好評でした。マスコミの注目度も高く、私は予想もしていなかったカメラのフラッシュを浴びました。各局のテレビニュースや各紙にとりあげてもらい、苦労して

作ったポスターよりも宣伝効果がありました。

6日間という短い期間にもかかわらず、約1400人もの来場がありました。絵本展を通して、今まで出会うことなかった異なった分野の人々と交流で



▲子どもたちが喜んで作品に触れました
きたことも大きな収穫でした。理事の方々の熱意と協力の結果です。心からお礼を申し上げます。

(友の会監事・美谷島いく子)

▲「友の会ニュース」第一号
松本市美術館 友の会

(5) 報道記録

2005年(平成17)

障害児のため「世界のバリアフリー絵本展」

障害のある子どもが手に触れて楽しめる本を集めた「世界のバリアフリー絵本展」(松本市美術館友の会・松本短期大学主催、朝日新聞松本支局など後援)が8日から、松本市美術館で始まる。13日まで。無料。

アツプリケ貼り付け 手話イラスト入りも 8日から 松本

「子どもの本の国連」と呼ばれるIBBY(国際児童図書評議会、本部・スイス)が収集した約4千冊の中から、デンマークやノルウェーなど17カ国の数十冊と日本の作品約20点を展示する。視覚障害の子どものためにアツプリケや動物の毛などを貼り付けた絵



展示されるバリアフリー絵本と美谷島いく子さん(松本市美術館で)

本、聴覚障害の子ども向けの手話イラスト入り絵本のほか、障害児が主人公の童話や写真集も。IBBYが一昨年に50周年を迎えたのを記念する企画。日本では東京を皮切りに各地を巡回し、松本市は38カ所目。県内では同市だけで開催の予定。

松本短期大学で北欧の絵本を研究している美谷島いく子助教の働きかけで実現した。「福祉政策に熱心な北欧諸国のバリアフリー絵本は50年近い歴史があり、芸術性が高いものが多い。日本の作品も最近レベルが上がっている。障害のある子どもと健常児、大人がいつしよに触ったり、声を出して読んだりして絵本の豊かな世界を楽しんでほしい」と呼びかけている。

2005年3月

www.nhk.or.jp NHKテレビ 0570-066066		www.nhk.or.jp NHK教育テレビ 0570-066066	
4.30	おはよう日本	5.00	漢詩◇05人間◇30きら
	▽ニッポン放送株争奪	6.00	ドイツ語圏
	どうなる公開買い付け	30	団体操◇50英会話トーク
	▽日本映画復活の秘密		&トーク圏 4077674
	▽工場に観光客が続々	7.10	回わんパーク はりも
	▽東京大空襲から60年		ぐ▽絵本▽30団ひとり
	惨状伝える 87037674		でできる▽英語遊ば▽
8.15	回わかば 原田夏希		からだ遊ば▽8.00日本
	田中裕子 909620		語遊ば▽10いないばあ
30	回生活ほっと		▽プチ▽30おかあさん
	プロが教える中国料理		といっしよ 75465736
	パラパラのチャーハン	00	回森のがんこ 481736
	ブリップリのえびチリ	15	回つくって団 915281
	シャッキリ! 八宝菜▽	30	回一つ地球 417262
	和三盆料理 7495194	45	回ハッスル 29842
00	回生活ほっと	00	回国語ツボ 499755
	東儀秀樹おすすめタイ	15	回算数5年 916910
	の味▽屋台のヒーブン	30	回人形劇場 418991
	ライブ演奏 874945	45	回英語リアン 56259
00	回みんなスタ 栄村	00	回学生きてる 490484
	の味と伝統工芸▽おひ	15	回日本見聞 926397
	な様展▽世界バリアフ	30	回現代社会「総まとめ」
	リー絵本展 875674		◇10m i n 94552

- (テレビ) 放映
- NHK 「みんなのスタジオ」 3月7日 11:00~
 - NHK ニュース(長野版) 3月8日 夕方
 - NHK ニュース(長野版) 3月9日 朝
 - NBS 長野放送 夕方ニュース
 - T S B テレビ信州 夕方ニュース
- (ラジオ)
- S B C

2005年3月9日(水) 市民タイムズ

すべての子供 楽しめる絵本

松本でバリアフリー展始まる

松本市中央四の市美術館市民ギャラリーで八日、県内初の「世界バリアフリー絵本展」が始まった。障害のあるなしにかかわらず、すべての子供が楽しめる世界十七カ国の絵本四十三冊と国内の約二十冊を展示している。

この日は、埋橋一の幸町保育園(橋爪緑園長)の年中・年長組園児三十七人が招待され、テープカットに参加、絵本を手



さまざまな絵本に子供たちも夢中だった

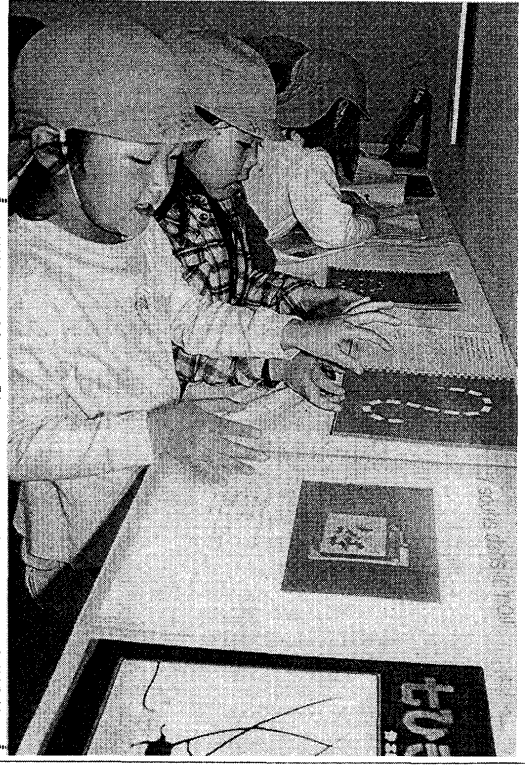
て開催した。開幕セレモニーで山崎健治松本短期大学長は「知的障害者のスポーツ意義な企画となった。多くの市民の見てもらい、心のバリアを取り除いて思いやりと助け合いの心をほぐんでほしい」と期待した。

塩尻市東筑摩郡教育委員長で障害児教育に詳しい、久保田茲朗塩尻市桔梗小学校校長は「経済的に成り立たないためか日本ではこの分野では大きく遅れている。学校教育現場では担当教諭などが手作りしている。この展示で多くの人が関心を持っていただければうれしい」と話した。十三日まで。絵本展の入場は無料。

「知的障害者のスポーツの意義な企画となった。多くの市民の見てもらい、心のバリアを取り除いて思いやりと助け合いの心をほぐんでほしい」と期待した。

2005年3月9日(水) 中日新聞

障害のある子どもたちも楽しめるよう工夫された絵本の展示
松本市美術館で



松本市美術館で八日「世界のバリアフリー絵本展」を開催してすべての子供たちに絵本の楽しみをもたらす。松本短大と同館友の会主催、中日新聞社後援が始まった。視覚や聴覚などに障害のある子どもたちも楽しめるよう工夫された世界の絵本、十七カ国四十三タイトル約五十冊と国内の約二十冊が展示してある。十三日まで。入場無料。日本各地を巡回展示しており、県内は初めて。触ると音がしたり、手話の絵が

障害児向け点字や手話絵 バリアフリー絵本展

付いたり、市販の本に絵文字、点字が描いてあったり、字が少なく障害のある子どもにもやさしく読める絵本が並んでいる。

松本短大の山崎健治学長は「オプニングセレモニーで「身体バリアフリーだけでなく、心のバリアを取り去ることが大事。思いやりや助け合いの心を大切にしたい」とあいさつ。早速訪れた近くの幸町保育園児たちは「本に穴が空いているよ」「音が出たよ」などと話しながら楽しんで絵本に触れていた。

(長竹 栞)

2005年3月11日(金) 信濃毎日新聞

談話室

障害者のために、障害を理解するためにさまざまな工夫をした絵本があることを知ってほしいと、「松本市美術館友の会」理事会で開催を提案。助教授を務める松本短期大学の協力も得て、13日まで同美術館で開いている「世界のバリアフリー絵本展」の実現にこぎつけた。

国内を含め17カ国の約50冊が並ぶ。知的障害者が声を出して読み内容を語り合えるようにと特別に文を短くしたスウェーデンの絵本、手話の身ぶりを大きくはっきり描いたノルウェーの絵本…。障害があるかどうかに関係なく暮らせるノーマライゼーションのためにはいろいろな方法がある、と語る言葉に力がこもる。



「バリアフリー絵本展」松本開催を企画
美谷島 いく子さん

日本の美術館変えたい

「日本では点字付きが中心。それも採算の問題からか、すぐに絶版になってしまう」と残念がる。

巡回展示中で、他都市の会場は主に図書館だが、松本開催に当たり、美術館にこだわった。以前滞在したスウェーデンなどの美術館には子ども用踏み台もあった。うるさくするからと、子どもを敬遠しがちな日本の美術館を変えていきたいという思いもある。専門は児童文学・文化。大学院生と大学生の母親で、夫は信大理学部的美谷島実教授。松本市城山。

(びやじま・いくこ)

2005年3月9日(水) 信濃毎日新聞



世界各国から集まった絵本を見る保育園児たち

バリアフリー絵本で知ろう

国内を含め、北欧など十七カ国の約五十冊を集めた「世界のバリアフリー絵本展」が八日、松本市美術館で始まった。点字や絵文字、手話の身ぶりが付いた絵本や障害のある人たちの作品など多彩。さっそく訪れた同市埋橋の幸町保育園の園児たちが一冊ずつ手に取っていた。

十三日までの日程で、松本短期大学

と美術館
友の会の主

権。自閉症
の少年を、

姉が語り手となって描いたアメリカの作品など、障害への理解が深まる絵本も展示している。企画した同短大の美谷島いく子助教授は「障害に対する心のバリアを取り除ききっかけにもしたい」と話していた。

絵本は、六十カ国以上が加わる国際児童図書評議会の障害児図書資料センター(ノルウェー)が収集したうちの一部。国内各地で巡回展示しており、県内開催は初めて。